

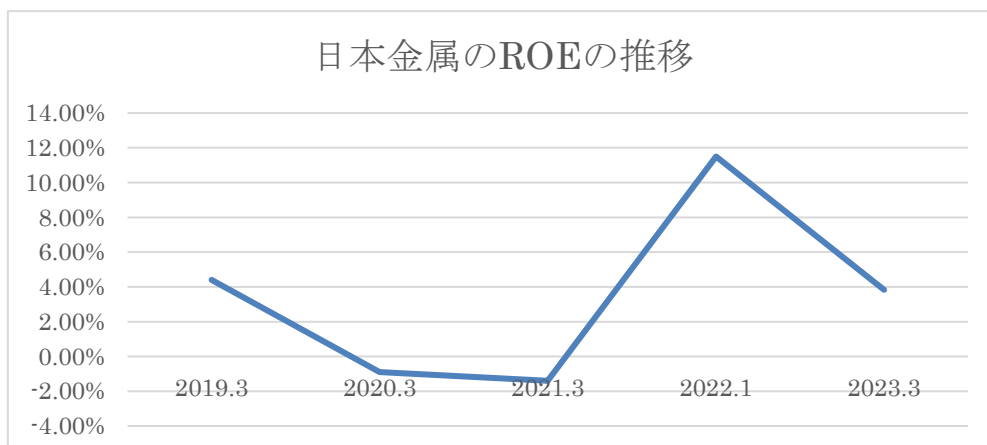
議決権行使レポート

証券コード 5491

会社名 日本金属

	賛成	反対	棄権
第1号議案 取締役選任			
下川 康志 氏	○		
原田 喜弘 氏	○		
山下 匡史 氏	○		
長谷川 伸一 氏	○		
山崎 修 氏	○		
小川 和洋 氏	○		
永塚 良知 氏	○		
假屋 ゆう子 氏	○		
第2号議案 監査役選任			
進藤 紀充 氏	○		
浦上 純一郎 氏	○		
第3号議案 補欠監査役選任			
加藤 寛 氏	○		
竈原 一晃 氏	○		

上記の推奨をした理由



第1号議案について、まずは社内取締役（下川氏、原田氏、山下氏、長谷川氏、山崎氏）について述べる。同社はROEが上記のグラフのように推移しており、2022年3月期の決算を除いてROEは低い水準であるといえる。また、2020年3月期と2021年3月期

の決算では当期純利益がマイナス、つまり赤字になっていることから、同社のこの5年間の経営状態は不安定であるといえる。しかし、りそなアセットマネジメントや三菱UFJ信託などの大手投資機関家の議決権行使基準を参照すると、過去3年間でROEが5%未満だと議案に反対するとある。同社は2022年3月期の決算でROEが11.5%であったことから、この基準は適用されないとわかる。また、同社のフリーキャッシュフローに着目すると、過去3年の決算から、積極投資型→優良型→リスクテイク型へと遷移していることが分かる。同社はここから資金調達を行い、積極的な投資を行う重大な局面にあるといえる。したがって、ここ数年の業績不振は目立つものの、同社の再起に期待して、社内取締役の選任に賛成する。次に社外取締役（小川氏、永塚氏、假屋氏）についても、それぞれの独立性は担保されているといえる。三人の中で唯一同社の株式を保有する小川氏についても、持ち株比率は10%未満で大株主ではないとわかる。また、女性である假屋氏を取締役に迎えており、ジェンダーの視点からも適当な選任であるといえる。したがって、社外取締役の選任についても賛成である。

第2号議案について、社内監査役として進藤氏が、社外監査役として浦上氏が候補者として挙げられている。今回の株主総会をもって退任する大西敏夫氏は社内監査役であり、掛橋幸徳氏は社外監査役であることから、この選任によって監査役の総数は変わらず、社内監査役と社外監査役の割合も変化しない。さらに、進藤氏、浦上氏ともに同社の生産本部や管理本部、財務部などを歴任しており、同社の事情に精通しているといえる。したがって、監査役の選任は適当であると判断できるため、この議案に賛成である。

第3号議案について、加藤氏は社内の補欠監査役、籠原氏は社外の補欠監査役の候補者として挙げられている。両氏ともに前年度の補欠監査役であり、それに引き続いて今年度も候補者となっていることから、補欠監査役としての信頼性は高いといえる。したがって、補欠監査役の選任に賛成である。

以上より、第1号議案、第2号議案、第3号議案すべてにおいて、賛成の立場をとる。

<参考文献>

- ・日本金属株式会社 第116期定時株主総会招集通知
<https://www2.jpx.co.jp/disc/54910/140120230606597402.pdf>
- ・日本金属 業績・財務データ
https://strainer.jp/companies/1602/performance?attributes%5B%5D=roe_ratio
- ・日本金属決算 業績推移（フリーキャッシュフローの項目を参照した）
<https://kabutan.jp/stock/finance?code=5491>
- ・日本金属株式会社 株式情報
<https://www.nipponkinzoku.co.jp/investor-relations/stock>
- ・りそなアセットマネジメント 議決権に関する行使基準
https://www.resona-am.co.jp/investors/pdf/kijun_kokunai.pdf

- ・ 三菱 UFJ 信託 受託財産運用における株式議決権行使

https://www.tr.mufg.jp/houjin/jutaku/pdf/unyou_kabu_8_pdf.pdf

以上